

授戒会について (4)

広厳寺では開山四百回忌を迎えるにあたり、昭和三十八年以来、五十年ぶりに、報恩のお授戒会を修行いたします。

「授戒会」(じゅかいえ)は正しいみ仏の教えを聞き、心で信じ、身体で行じて身も心も清らかなり、生きながら仏様にさせていただく曹洞宗最高の法要儀式です。参加者の皆様には五日間お寺に通っていただき、礼拝、聞法、坐禅、食事など修行の実践を重ね、「戒」授かります。

大授戒会

平成二十五年

五月二十七日～三十一日

(五日間)

戒 金 五万円

因脈授与 一万円

亡戒血脈 五千円

* 募集百五十名

* 平成二十四年春に各家にご案内通知いたします。

授戒会の言葉

一、戒師(かいし)

参加者に「戒」を授けてくださる大導師様を「戒師」とお呼びします。

大本山永平寺副貫首

南澤道人老師

が戒師をお務めくだされます。

一、戒弟(かいてい)

戒を受ける参加者を「戒弟」と呼びます。

一、正戒(しょうかい)

五日間わたり修行される方を「正戒」と呼びます。どなたでも無理なく参加できるよう、時間的にも内容的にも余裕を持って計画してあり、体力的に厳しいことはありません。

一、因脈(いんみゃく)

今回の授戒会に、都合で五日間の修行は務めることができない方は一日だけ戒師様とご縁を結んでいただくことができます。「因縁血脈」という特別なお血脈を授かります。

一、亡戒(もうがい)

亡くなられた方に授戒会の功德をご供養するための「送り授戒」

です。故人のお戒名が記されたお血脈が授かります。



一、血脈(ちみゃく)

お釈迦様から教えを受け継いだ和尚様の名前(系図)を記し、最後にご自身の戒名を書き入れ、一本の赤い線で結び、更にお釈迦様へと帰ります。つまり「血脈」とはそれを戴くことにより、はつきりとお釈迦様の弟子となる「証明書」です。お血脈をいただくことにより、私たちは「ほとけのいのち」を生きていることを思い、日々送ることができるのです。

* どうか一度とない、この機会を逃すことなく、一人でも多くの方々の参加をお待ちしております。初めての方がほとんどと思われますが、お気軽にお考えください。

* ご不明な点はどんなことでも広厳寺へお問い合わせください。

写経(般若心経)を始めませんか!

期日 毎月第二日曜日(1月2月はお休み、8月は第一日曜日)

時間 午後1時～随時(午後4時終了)

参加予約不要 イス席 筆ペンも可

参加費 納経料300円

* 筆、硯、墨等の準備はありますが、使い慣れたものを持参していただいても結構です。写経台紙(手本)、写経用紙はこちらでご用意いたします。 * 時間内のいつでも写経できます。(1時間位)

3/13(日) 4/10(日) 5/8(日) 6/12(日) 7/10(日)

8/7(日) 8月は都合により第一日曜日となります。



写経会 毎月(1月2月を除く)第2日曜 時間午後1時～随時(16時終了)都合付く時間にできます。